



担当 1 班

【実施日】 2023 年 8 月 11 日 (金) 【天 候】 晴れ
 【集 合】 阪神 淀川駅改札口 10 時
 【参加者】 49 名
 【行 程】 下水道科学館着⇒集合写真 (玄関) ⇒見学 (班別) ⇒班長会議 (12:00) ⇒解散 (12:10)

項目	ビデオ	集合写真	班	見学-1	見学-2	解散
時間	10:15~10:25	10:25~10:40		10:40~11:20	11:20~12:00	12:10
場所	5F 多目的ホール	6F サンプルーム	A 班 1・2・3 班	3F⇒4F	5F⇒B1F⇒1F	5F
			B 班 4・5・6 班	5F⇒B1F⇒1F	3F⇒4F	

2022.04.01 リニューアルオープンした、あたらしい大阪市下水道科学館を見学しました。身近な ライフラインである下水道について、子どもから大人まで楽しみながら 学習できる施設でした。B1F から 6F まで展示内容はかなり多く、普通に見て回ると 2 時間はかかりそうなボリュームです。

当館のキャッチフレーズは、**下水道の「？」を「！」に変える**。展示を「見て」「触れて」「体験して」、いつのまにか「下水道って何？」という疑問を、ゲーム感覚で楽しみながら「なるほど！」に変えてくれるところでした。

■施設の印象に残ったところ

- ・体を動かしたり、模型や音と映像にも触れて体験型のコンテンツを満喫できました。
- ・光降り注ぐ近未来的な「エントランスホール」には、見学者のさまざまな感想をリアルタイムで見ることができる「ことばの泉」がありました。
- ・入館すると大阪・関西万博のミャクミャクのマンホール蓋を発見。
- ・地下に行くとキン肉マンのマンホール。作者のゆでたまごさんが大阪市にご縁があるらしいです。
- ・「型押し」に夢中に！ マンホールスタンプラリー。インクを使わないので、手を汚さず綺麗にスタンプを押せる。
- ・フォトスポットもたくさんありました。大阪湾に近い淀川の美しい景色も一望できました。
- ・今回初めて知ったのが、太閤下水。大阪市には豊臣秀吉によって作られた下水道が今も現役で使われている。
- ・人気のブースは？ ①下水道についてのQが出てくるので、Aを自分で考えて発信できるブース。②ゲームをしながら下水道について学べるブース。③ポーズのブース・・・片足立ちでよろけています。
- ・入口の、上から眺める巨大なマンホールと滝修行ならぬ、下水修行？のデジタル滝。
- ・全面ガラス張りの最上階では、写真に人物が映り込むことで「下水道」の文字列が完成するユニークな壁がありました。3人で協力して、文字列を完成します。



◆所感 小学4年生がメインターゲットとか。いえいえ、最新デジタル技術を駆使した楽しい体験型展示がめじろ押しで、我々シニアも遊びながら学びました。フォトスポットやクイズコーナーなどもあり、楽しみながら学べます。普段生活する中であまり意識することが少ない下水道。その役割や大切さ、歴史や仕組み、下水道を支える技術など「下水道のすごさ、たいせつさ、ありがたさ」を実感できた半日でした。